

1 単元名 ソフトバレーボール

2 運動の特性

(1) 一般的特性

2チームがネットを挟んで分かれ、自陣にきたボールを落とさずに拾い上げたり、攻めを組み立てて相手コートにボールを落としたりして得点を競い合っして楽しむ運動である。

(2) 子どもから見た特性 (男子 10名 女子 10名 計 20名)

A 運動の楽しさの体験状況

① 体育の学習は好きですか。

好き	どちらかという好き	あまり好きではない	嫌い
15名	3名	2名	0名
○運動するのが好き・楽しいから	12名	○走るのが苦手だから	1名
○普段やらないスポーツができるから	3名	○球技は好きだが、器械体操が苦手	1名
○できないことが上手にできたときがうれしいから	2名		
○みんな協力できるから	1名		

② ボール運動は好きですか。

好き	どちらかという好き	あまり好きではない	嫌い
17名	2名	1名	0名
○パスをつなげるから	5名	○ボールを扱うのが苦手だから	1名
○協力し合ったり、教え合ったりできるから	4名		
○得点を入れるのが楽しいから	3名		
○みんなで協力してプレーできるから	2名		
○パス・シュート・ドリブルなど様々な動きができるから	1名		
○いろいろなボール運動があつて楽しいから	1名		
○みんなと仲良くなれるから	1名		
○得意な運動があるから	1名		
○全員にパスが回って点が入るとうれしいから	1名		

③ どんなボール運動が好きですか。

○卓球	12名	○バスケットボール	11名	○バレーボール	10名
○サッカー	8名	○ドッジボール	7名	○テニス	5名
○野球	4名	○ポートボール	3名		

④ボール運動が楽しいときはどんなときですか。また、つまらないときはどんなときですか。

楽しいとき		つまらないとき	
○点が入ったとき	11名	○ボールが自分のところに来ないとき	8名
○上手にできたとき	5名	○自分がミスをしたとき	4名
○パスがつながったとき	5名	○文句を言われたとき	2名
○接戦なとき	2名	○負けたとき	2名
○全員にボールが行き渡ったとき	2名	○味方や敵がやる気がないとき	1名
○勝ったとき	2名	○パスがつながらないとき	1名
○パスが回ってきたとき	1名	○大差がついているとき	1名
		○もめたとき	1名
		○点を入れられたとき	1名
		○全員にボールが行き渡らないとき	1名
		○ルールが難しいとき	1名
		○ゲームが進まないとき	1名
		○チームの実力が公平でないとき	1名

⑤ソフトバレーボールのためしのゲームはどうでしたか。

楽しかった	どちらかという楽しかった	あまり楽しくなかった	楽しくなかった
20名	0名	0名	0名
○みんなでボールを回せたから	8名		
○ラリーを続けられたから	4名		
○ネット型のゲームを初めてやってみて おもしろかったから	3名		
○簡単に感じたから	2名		
○得点できたから	2名		
○レシーブをうまくできたから	1名		
○うまくアタックできたから	1名		
○友達を励ませたから	1名		

⑥ソフトバレーボールを体験してみてどんなときが楽しかったですか。

○ラリーが続いた	10名	○得点できた	7名
○全員でつなげられた	4名	○チームに点がたくさん入った	3名
○うまくアタックできた	1名	○サーブが入った	1名
○チームが勝った	1名	○自分にボールが回ってきた	1名
○うまくレシーブできた	1名		

⑦ソフトバレーボールを体験してみてどんなときがつまらなかったですか。

○ラリーがつながらなかった	4名	○ボールが回ってこなかった	3名
○自分の番を待つ	2名	○点を決められた	2名
○ローテーションがわからなくなってしまった	2名	○チーム内や相手チームでもめごとがあった	2名
○レシーブができない	2名	○サーブを決められてしまった	1名
○ルールがあやふやになってしまった	1名		

⑧これから始まるバレーボールの学習は楽しみですか。

楽しみだ	楽しみでない
20名	0名

B 運動の楽しさを求める学び方の習得状況

① 自分に合っためあてをもつことができますか。

できる	アドバイスがあればできる	できない	わからない
15名	5名	0名	0名

② 友達と協力して、教え合いや励まし合いができますか。

だれとでもできる	仲の良い人とならできる	自信がない
18名	0名	2名

③ バレーボールの学習を進めていくうえでどんなことが大切だと思いますか。

○声を出す・声をかける・友達を励ます	13名
○教え合う・アドバイスし合う	6名
○全員にボールが行き渡るようにする	4名
○チームワーク	3名
○ルールを守る	2名
○失敗しても責めない	2名
○ルールを理解して、ゲームをスムーズに進められるようにする	1名

④ わからないことやうまくいかないことがあったらどうしますか。

○友達に聞く	15名
○先生に聞く	13名
○上手な人に教わる	3名
○自分で考える	3名
○チームの仲間と話し合う	1名

⑤ バレーボールの学習が終わったときにどういう姿になりたいですか。

○教え合いができるようになる	7名
○友達のことを考えられる	4名
○励まし合いができるようになる	4名
○友達と協力できるようになる	4名
○声を出せるようになる	2名
○上手にボールを打てるようになる	2名
○バレーボールが上手になりたい	2名
○友達と仲良くなる	2名
○人の話をきちんと聞けるようになる	1名
○あいさつがきちんとできるようになる	1名
○責めずにカバーできるようになる	1名

C 運動の楽しさを味わうための技能の習得状況

	No	性別	アンダーハンドパス		オーバーハンドパス		移動		アタック	
			100 g	50 g	100 g	50 g	100 g	50 g	100 g	50 g
A (黄)	1	女	○	○	◎	○	○	◎	◎	◎
	2	男	○	△	△	○	○	◎	○	◎
	4	女	△	△	△	○	△	△	△	△
	10	男	○	○	◎	○	○	◎	○	◎
	15	女	○	△	○	◎	○	△	◎	○
B (青)	6	女	△	△	△	○	◎	◎	○	◎
	7	男	△	△	△	○	○	○	◎	○
	8	女	△	△	△	○	○	△	△	○
	12	男	○	○	○	○	○	◎	○	○
	17	男	△	○	◎	◎	◎	◎	◎	○
C (赤)	5	男	△	△	△	○	○	◎	○	◎
	11	男	△	△	△	○	○	◎	○	○
	13	女	○	○	○	○	○	○	○	◎
	19	男	△	△	○	◎	◎	◎	○	◎
	20	女	○	△	○	○	○	○	◎	◎
D (緑)	3	女	○	△	○	○	○	○	○	◎
	9	女	△	△	○	○	△	○	○	◎
	14	男	△	○	○	○	○	◎	△	◎
	16	男	△	△	△	○	○	◎	◎	◎
	18	女	△	○	△	◎	○	◎	○	◎

- ①アンダーハンドパス・・・ネットの反対側からサーブされたボールを上にあげることができた回数。
 ②オーバーハンドパス・・・5 m先から投げられたボールを、相手に返すことができた回数。
 ③移動・・・先生がサーブしたボールの落下地点に移動できた回数。
 ④アタック・・・先生が投げ上げたボールを相手コートに落とせた回数。
 ◎・・・5 ○・・・3、4 △・・・0～2

⑤ためしのゲーム

ルール

- ・チームの人数は男女混合の5人（コートの中は4人）
- ・サーブ権は1回サーブをしたら相手に渡る。
- ・3回以内に相手に返す。1回返しはなし。相手コートの返す場合は投げ入れてはいけない。キャッチなし（途中からあり）。
- ・得点したらローテーション
- ・審判はみんなでおこなう（セルフジャッジ）
- ・ネットの高さ 190 cm

- ・サーブがそのまま得点になることが多かった。
- ・レシーブミスが多く、サーブやアタックを受けて次の人につなげることがほとんどできていなかった。
- ・キャッチありにすると、「キャッチ→アタック」の2段攻撃が9割ぐらいになった。

【考察】

A 運動の楽しさの体験状況について

本学級の子どもたちの多くは、体を動かすことが好きであり、体育の学習を楽しみにしている。休み時間には鬼ごっこやサッカーを楽しんだり、週に一度行うクラス遊びでは全員が積極的にケイドロやドッジボールで遊んだりする姿が見られる。一方で、「動くことが好きではない」という理由から体育があまり好きではないと感じている子どもも2名いる。

ボール運動については、「上手にプレーできたとき」や「友達にパスをつなげたとき」など、技能が高まり、自分が思い描いた通りにプレーができたことに楽しさを感じている子どもが多い。試しのゲーム後のアンケートでは、「ラリーをつなげることができた」「全員でつないで得点できた」など、子どもたちは友達とボールをつないで得点を入れることに楽しさを感じている。

これらのことから、全員が攻防に参加し、得点を競い合うことの楽しさを味わえるソフトバレーボールの学習にしていきたい。そのために、攻防が楽しめるような用具や場、みんなが参加できるようなルールを考えて学習を進めていく。

B 運動の楽しさを求める学び方の習得状況について

「自分に合っためあてをもつことはできますか。」という問いに対して、「できる」・「アドバイスがあればできる」と答えた子どもが19名であった。これまでに、様々な単元でめあて学習を行ってきたので、少しずつめあてのもち方について理解してきたからだと考える。しかし、昨年度行ったサッカーの学習では、「〇〇をして、得点をしたい」など具体的に個人のめあてを書くことができる児童が多かったが、チームのめあてと個人のめあてがつながっておらず、チームとして戦うという意識が薄く感じられた。チームとしての思考・判断の経験が少ない実態が見受けられるので、本単元ではチームのめあてや攻め方、守り方などチームとしてどのように戦っていくかということ意識できるようにさせていきたい。

学習を進める上で大切なことについての質問では、「声をかける・友達を励ます」「教えあう」など人のかかわりを大切にする考えが多く挙げられた。5年生で取り組んだサイドアタックサッカーでも、技能が高い子どもが低い子どもに進んで教えたり、優しく声をかけたりする場面が見られた。一方で、教え合いに自信がないと答える子どもも2名いるので、自信をもってプレーしたり、認める声掛けをしたりできるように支援していきたい。

C 運動の楽しさを味わうための技能の習得状況について

技能の習得状況から、ボールに反応して落下地点に移動することができる子どもが多いことが分かった。しかし、パス（レシーブ・トス）の技能が低く、ボールを真上に上げたり、味方が受けやすいようなボールをつないだりすることができない子どもが多かった。試しのゲームでも、サーブやアタックがそのまま得点に入ることも多く、ボールを次の人につなげることがほとんどできていなかった。

そこで、技能が低い子どもでも楽しめるやさしい場やルール、用具で学習を始めていく。また、パスやアタックの技能に慣れる時間を毎時間設定し、技能面に不安のある子どもも安心して学習に取り組めるようにしていきたい。

3 研究の視点と学習の手立て

(1) 市教研体育部の研究主題

生涯にわたって健康を保持増進し、運動に親しむ子どもを育てる体育学習

(2) 研究の視点

視点1 子どもの実態を的確に把握し、運動の特性と指導内容を明確にした上で、道すじや学習活動を工夫し、ねらいを明らかにすることで子どもたちが学習意欲やめあてをもって取り組めるようにする。

○場や用具の工夫

全員が攻防に参加し、得点を競い合うことの楽しさを味わえるソフトバレーボールの学習を行っていくために、以下のことに取り組んでいく。チームにあった場や用具を選ぶことで、より意欲的に活動ができると考える。

① ネットの高さ

ネットの高さは、190 cm・210 cmで設定する。ねらい①では1・3時間目は210 cm、2・4時間目は190 cmと交互に体験することで、どちらの高さがチームに合っているのかを考えられるようにしていきたい。また、ネットが低い場合と高い場合でどのような戦い方が有効であるか考えさせたい。

② ボールの種類

ボールの重さは50gと100gの2種類を扱っていく。ねらい①で両方のボールを体験し、チームに合ったボールを選べるようにしていく。重いボールと軽いボールの特徴を理解し、作戦にどのように影響してくるかを考えさせたい。

○ルールの工夫

本学級の子どもたちはネット型の運動の経験がほとんどない。技能が低い子でも意欲的に参加できるように、まずはやさしいルールから学習を始めていく。単元の後半では、実態の高まりに応じてルールを付け足したり、変更したりしていきたい。

【はじめのルール】

- コートはバドミントンのコートを使用する。(縦13m×横6m)
- 試合は前・後半で行う。(5分ハーフ)
- チームの人数は男女混合の5人(コートの中は4人)
- サーブは下から投げ入れる。ネットに当たったり、コート外に落ちたりした場合は、1回だけやり直せる。
- サーブはチーム間で、1回ずつ交代で行う。
- サーブが回ってきたらローテーションする。
- 3回で相手コートへ返す。1回だけキャッチあり。相手コートへ返す場合は投げ入れてはいけない。
- 審判はみんなで行う。(セルフジャッジ)

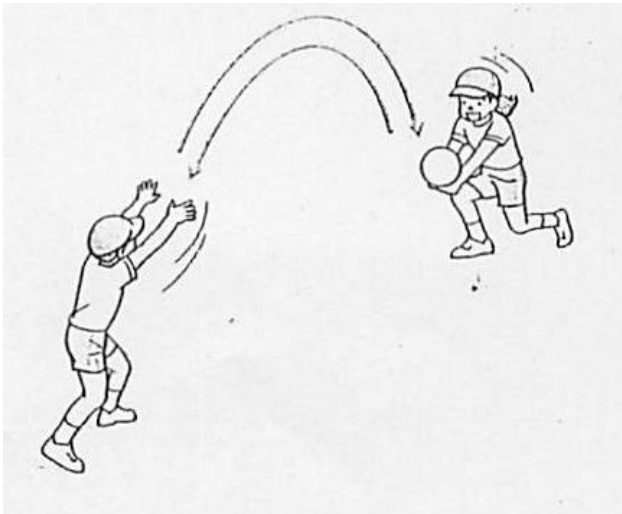
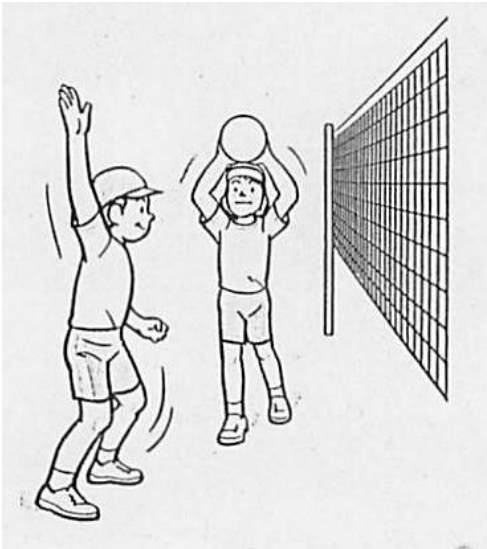
【ねらい②で、変更が予想されるルールの例】

- サーブは下から打ち入れてもよい。
- キャッチはなし。
- フォーメーションを固定する。 など

視点2 一人一人のよさを伸ばし、できる喜びを実感できる手立てを工夫する。

○うまくなりタイム（つながる運動）

ソフトバレーボールの特性に親しむためには、サーブやアタックされたボールを拾い上げる技能や、次の人が打ちやすいところへあげる技能が必要である。また、ボールを拾われないように相手コートに打つ技能も必要であるとする。以上の理由から、「パス」と「トス・アタック」の技能に慣れるためのつながる運動を、毎時の学習の始めに行っていく。毎時間、継続して行うことで少しずつ動きに慣れることができると思う。

①マンツーマンパス（パスの技能）	②アタック No1（トス・アタックの技能）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 2～3人で行う。 ・ 一人がボールを投げて、もう一人はそれを返す。 ・ 投げる人はボールを左右に振る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ チームで行う。 ・ トスされたボールを、反対のコートに打ち返す。 ・ チーム内でローテーションしながら行う。
	

4 学習のねらい

○ソフトバレーボールに進んで取り組み、友達と助け合ってゲームをしようとする事ができる。

【関心・意欲・態度】

○攻め方の工夫を知るとともに、チームに合ったルールを選んだり、作戦を立てたりすることができる。

【思考・判断】

○味方が受けやすいようにボールをつないだり、相手コートにボールを打ち返したりすることができる。

【技能】

5 評価規準（おおむね満足できる状況）

	運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・集団対集団で競い合う楽しさや喜びに触れることができるよう、ネット型のゲームに進んで取り組もうとしている。 ・ルールやマナーを守り、友達と助け合って練習やゲームをしようとしている。 ・用具の準備や後片付けで、分担された役割を果たそうとしている。 ・運動をする場を整備したり、用具の安全を保持したりすることに気を配ろうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ネット型の楽しいゲームの行い方を知るとともに、簡易化されたゲームを行うためのルールを選んでいる。 ・チームの特徴に応じた攻め方を知り、自分のチームの特徴に応じた作戦を立てている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易化されたゲームで、安定したラリーでの競い合いができるためのボール操作や動きができる。
学習活動に即した評価規準	<ol style="list-style-type: none"> ①ソフトバレーボールに進んで取り組もうとしている。 ②ルールやマナーを守り、友達と助け合ってゲームをしようとしている。 ③準備や後片付けを協力して行ったり、用具の安全に気を配ったりしようとしている。 	<ol style="list-style-type: none"> ①ゲームの行い方を知るとともに、自分に合っためあてを立てている。 ②攻め方の工夫を知るとともに、チームに合ったルールを選んだり、作戦を立てたりしている。 	<ol style="list-style-type: none"> ①ボールの方向に体を向け、その方向に移動することができる。 ②味方が受けやすいようにボールをつなぐことができる。 ③相手コートにボールを打ち返すことができる。

6 学習の道すじ(本時6 / 7)

	1	2	3	4	5	6 (本時)	7	
0 ↓ 4 5	オリエンテーション	うまくなりタイム						
		ねらい① やさしいルールでソフトバレーボールを楽しむ。		ねらい② チームに合ったルールや作戦を考えて、ソフトバレーボールを楽しむ。				
関・意・態	①・③		②					
思考・判断				①		②		
技能		①			②		③	

7 学習内容と活動

	学習内容と活動	教師の支援・評価（◇評価）			
はじめ	<p>1 オリエンテーションをする。</p> <p>○学習のねらいや道すじを知り、学習の進め方の見通しをもつ。</p> <p>○安全・マナーについて理解する。</p> <p>○用具の使い方や安全な場の準備・後片付けの仕方を理解する。</p> <table border="1" data-bbox="279 481 1412 694"> <tr> <td data-bbox="279 481 662 694"> <p>〈学習の進め方〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねらいや道すじ ・ルール ・場や用具の準備 </td> <td data-bbox="662 481 1412 694"> <p>〈学習のマナー〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームの始めと終わりのあいさつを元気よくしよう ・よいプレーは進んで賞賛しよう ・安全で楽しい学習にしよう </td> </tr> </table> <p>2 うまくなりタイムの進め方を知る。</p> <p>○うまくなりタイムで取り上げる内容やポイントを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マンツーマンパス ・アタック No 1 ! <p>3 試しのゲームを行う。</p> <table border="1" data-bbox="279 996 1412 1377"> <tr> <td data-bbox="279 996 1412 1377"> <p>(ルール)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コートはバドミントンのコートを使用する。(縦13m×横6m) ○試合は前後半で行う。(5分ハーフ) ○チームの人数は男女混合の5人(コートの中は4人) ○サーブは下から投げ入れる。ネットに当たったり、コート外に落ちたりした場合は1回だけやり直せる。 ○サーブはチーム間で、1回ずつ交代で行う。 ○サーブが回ってきたらローテーションする。 ○3回で相手コートへ返す。1回だけキャッチあり。相手コートへ返す場合は投げ入れてはいけない。 ○審判はみんなで行う。(セルフジャッジ) </td> </tr> </table> <p>○ネットの高さ：190 cm</p> <p>○ボールの重さ：前半 50g 後半 100g</p> <p>◇ソフトバレーボールに進んで取り組もうとしている。</p> <p style="text-align: right;">【関心・意欲・態度】①</p> <p>4 学習カードの書き方を知る。</p> <p>5 整理体操・後片付けをする。</p> <p>◇準備や後片付けを協力して行ったり、用具の安全に気を配ったりしようとしている。</p> <p style="text-align: right;">【関心・意欲・態度】③</p>	<p>〈学習の進め方〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねらいや道すじ ・ルール ・場や用具の準備 	<p>〈学習のマナー〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームの始めと終わりのあいさつを元気よくしよう ・よいプレーは進んで賞賛しよう ・安全で楽しい学習にしよう 	<p>(ルール)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コートはバドミントンのコートを使用する。(縦13m×横6m) ○試合は前後半で行う。(5分ハーフ) ○チームの人数は男女混合の5人(コートの中は4人) ○サーブは下から投げ入れる。ネットに当たったり、コート外に落ちたりした場合は1回だけやり直せる。 ○サーブはチーム間で、1回ずつ交代で行う。 ○サーブが回ってきたらローテーションする。 ○3回で相手コートへ返す。1回だけキャッチあり。相手コートへ返す場合は投げ入れてはいけない。 ○審判はみんなで行う。(セルフジャッジ) 	
<p>〈学習の進め方〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねらいや道すじ ・ルール ・場や用具の準備 	<p>〈学習のマナー〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームの始めと終わりのあいさつを元気よくしよう ・よいプレーは進んで賞賛しよう ・安全で楽しい学習にしよう 				
<p>(ルール)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コートはバドミントンのコートを使用する。(縦13m×横6m) ○試合は前後半で行う。(5分ハーフ) ○チームの人数は男女混合の5人(コートの中は4人) ○サーブは下から投げ入れる。ネットに当たったり、コート外に落ちたりした場合は1回だけやり直せる。 ○サーブはチーム間で、1回ずつ交代で行う。 ○サーブが回ってきたらローテーションする。 ○3回で相手コートへ返す。1回だけキャッチあり。相手コートへ返す場合は投げ入れてはいけない。 ○審判はみんなで行う。(セルフジャッジ) 					
なか①	<p>1 学習の場づくりをして、準備運動をする。</p> <p>○ストレッチ</p>	<p>○安全に配慮し、手首や足首などの怪我をしや すい部位のストレッチをしっかり行うように 助言していく。</p>			

- うまくなりタイム
- ・マンツーマンパス
- ・アタック No1

- 一つ一つの動きのポイントを確認しながら行うよう助言していく。
- それぞれの練習の目的を意識して取り組むように声をかけ、うまくいかないグループに入って助言する。

2 ねらい①の確認をする。

やさしいルールでソフトバレーボールを楽しむ。

- 3 チームや個人のめあてを確認する。
- チームのめあて
 - ・全員がボールにさわって勝つ。
 - ・声をかけ合って、ボールを落とさないようにして勝つ。
 - 個人のめあて
 - ・落下地点に入るために、素早く動く。
 - ・ボールを拾う。

- 学習カードをもとにして、今日のめあてを確認する。
- グループでお互いにアドバイスし合えるように声をかける。
- 友達やチームのめあてを意識して、ゲームに臨めるよう助言する。
- 自分でめあてをもつことが苦手な子には、今までの学習カードを振り返るよう、個別にアドバイスする。
- ◇ゲームの行い方を知るとともに、自分に合っためあてをたてている。

【思考・判断】①

4 やさしいルールでゲームを行う。

○1 ゲーム目を行う。

- ・前半5分
- ・ハーフタイム1分
- ・後半5分

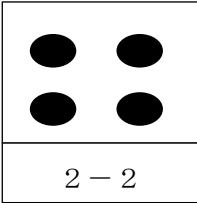
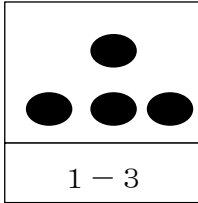
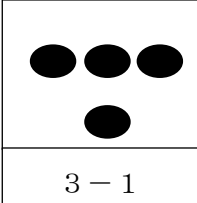
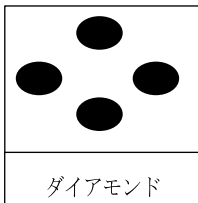
時間	ネット	ボール (g)
2	190cm	1 試合目 50
		2 試合目 100
3	210cm	1 試合目 50
		2 試合目 100
4	190cm	1 試合目 50
		2 試合目 100

- ゲームの始まりと終わりのあいさつ等、マナー面についてしっかり行うよう、よい子どもを称賛する。
- ボールの落下地点に入れないう子どもには、教師と一緒に動いたり、動き方を助言したりする。
- 試合の中でよい動きをしていたり、仲間を励ます声かけをしていたりする子どもを称賛する。
- 子どもがチームのめあてを意識できるように、試合中もめあてについて声をかける。
- ◇ボールの方向に体を向け、その方向に素早く移動することができる。 **【技能】①**
- 対戦したチームの特徴や、うまくいった攻め方や守り方について話し合い、次のゲームに生かせるようにする。
- なかなか勝ち点が取れないチームには、動き方の手本を見せて指導する。

○チームごとに振り返りをする。

○2 ゲーム目を行う。

- ・1 ゲーム目と同じ時間配分で行う。

	<p>5 チームごとに振り返りを行い、全体で学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分のめあてやチームのめあてを達成できたか。 ○協力し、励まし合えたか。 ○よかった点や次の試合への改善点 ○ボールの重さやネットの高さがチームに合っていたか。 <p>6 整理運動をし、後片付けをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○チームや個人のがよかったところや課題について取り上げ、全体で紹介する。 ○作戦につながる気づきを大切に、学習カードに書いている子どもを称賛する。 ○チームメイトや相手チームのよいところを見つけられた子どもを称賛し、全体で共有することで次時への意欲化を図る。 <p>○協力して進んで安全に行うよう助言する。</p>
<p>なか か ②</p>	<p>1 学習の場づくりをする。</p> <p>2 ねらい②の確認し、チームのめあて・作戦・個人のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> チームに合ったルールや作戦を考えて、ソフトバレーボールを楽しむ。 </div> <p>(チームの作戦の例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォーメーション <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>2 - 2</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>1 - 3</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>3 - 1</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ダイヤモンド</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・最後はアタックが得意な○○君に打たせて勝つ。 ・相手がいなくて狙ってアタックをして勝つ。 <p>(個人のめあて)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つなぎやすいようにふわっとしたボールをあげる。 ・相手がいなくてアタックをして点をとる。 	<p>○安全に場づくりができるよう助言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○今までのゲームの経験から、自分たちのチームに合った練習を行うよう学習カードを確認させながら助言する。 ○自分のチームと相手のチームの特徴を考えて、攻守両方の作戦を考えるように、学習カードを振り返るようアドバイスをします。 ○チームで考えた作戦を共通理解し、ゲームの中で実践できるように声をかける。 ○作戦が立てられないチームには、学習カードや掲示物を参考にするように助言する。 ○負けが続いているチームには、そのチームに合った作戦を助言する。 <p>◇攻め方の工夫を知るとともに、チームに合ったルールを選んだり、作戦を立てたりしている。</p> <p style="text-align: right;">【思考・判断】②</p>

<p>3 チームで準備体操・練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ストレッチ ○うまくなりタイム <ul style="list-style-type: none"> ・マンツーマパス ・アタック No1 <p>4 ゲームを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1ゲーム目を行う <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・前半5分 ・ハーフタイム1分 ・後半5分 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○作戦タイム（5分） ○同じチームと2ゲーム目を行う。 <p>5 チームごとに振り返りを行い、全体で学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○作戦はどうだったか。 <ul style="list-style-type: none"> ・フォーメーション ・攻め方 ・守り方 <p>6 整理運動をし、後片付けをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○チームに合った練習を行うよう学習カードを確認させながら助言する。 ○作戦に合った練習をしているチームや、個人のためあてに合った練習をしている子どもを称賛する。 ○個人のめあてを達成している子どもを称賛する。 ○コート外でもアドバイスをしている子どもを称賛していく。 ○負けているチームの作戦タイムに入り、勝つための作戦や試合に臨む気持ちについて助言する。 ◇味方がボールを受けやすいようにボールをつなぐことができる。 【技能】② ◇相手コートにボールを打ち返すことができる。 【技能】③ ○よかった作戦を称賛し、他のチームも次時に生かすことができるようにする。 ○相手チームの良さを伝え合うことで、お互いを認め合い、自分の頑張りに気づかせ、次時への意欲化を図る。 ○ルールを生かして動いていたチームを称賛する。 ○協力して進んで安全に行うよう助言する。
<p>まとめ</p> <p>学習を振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ソフトバレーボールの学習に進んで取り組めたか。 ○友達と助け合ってゲームができたか。 ○チームに合ったルールを選んだり、作戦を立てたりすることができたか。 ○味方が受けやすいようにボールをつなげたか。 ○相手コートにボールを打ち返せたか。 	

※うまくなりタイムのイラスト

高橋健夫・ほか編『みんなの体育 6年』 学研教育みらい より引用